

第35回 けんぶち絵本の里大賞受賞作品決定

～絵本の里大賞～



《作品名》

しばらくあかちゃんになりますので

《作者》

(作・絵) ヨシタケシンスケ

《出版社》

株式会社PHP研究所

大賞を受賞したのは、ヨシタケシンスケさんの「しばらくあかちゃんになりますので」です。

ヨシタケシンスケさんが大賞を受賞されたのは、2023年の第33回けんぶち絵本の里大賞以来、6回目の受賞です。あかちゃんって、そんなに楽しいのかな。でも、「あかちゃんになりたい！」って思うことは確かにあります。そんな時はまわりのみんなもそっと見守ってあげましょうか。さあ、思い切ってゴローン……。

いろんな人の立場の思いや葛藤が垣間見えるヨシタケシンスケさんのぷぷっと笑える絵本です。

【あらすじ】

ママが赤ちゃんのお世話で忙しいため、おねえちゃん扱いされることに不満を感じたみーちゃんが、自分も赤ちゃんになることを決意するところから始まります。しかし、赤ちゃんになるとお菓子が食べられないことに気づき、すぐにやめてしまいます。その後、疲れてしまったママも「ママも赤ちゃんになる！」と言い出し、お父さんもそれに続き……

10月1日(水)、来館者が好きな絵本を選ぶ「第35回けんぶち絵本の里大賞」の開票作業が、絵本の館で行われました。

絵本の里大賞の投票期間中には道内外からたくさんの方が絵本の館を訪れ、11,599票が投票されました。

今回の応募点数は271作品で、その中から第35回けんぶち絵本の里大賞は、(作・絵)ヨシタケシンスケ『しばらくあかちゃんになりますので』に決定しました。

ヨシタケシンスケさんは第33回以来の大賞受賞となりました。

びばからす賞には、(作)麻生 かづこ (絵)かねこ まき『いちごりら』が選ばれました。

また、過去に受賞歴がない作者で最も多くの投票数があった作品に贈られるアルパカ賞には、(文)まつまえ つかさ (絵)かわい えみ『レンガえんとつのチムニーさん』、(文)江口絵里 (絵)かわさきしゅんいち (監修)藤原義弘『クジラがしんだら』が選ばれました。

受賞が決定した作家の方たちは、来年2月14日(土)開催の絵本の里大賞授賞式や、歓迎レセプションに出席される予定です。

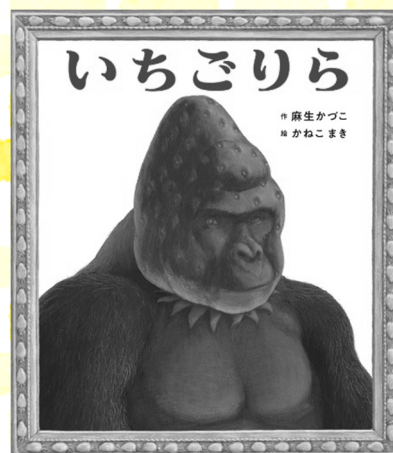
～びばからす賞～

《作品名》
いちごりら

《作者》
(作) 麻生 かづこ
(絵) かねこ まき

《出版社》
株式会社ポプラ社

見れば見るほどくせになる！ことばあそび
と迫力のある絵変わりが楽しい絵本です。



～アルパカ賞～



《作品名》
クジラがしんだら

《作者》
(文) 江口絵里
(絵) かわさきしゅんいち
(監修) 藤原義弘

《出版社》
(株) 株式会社童心社

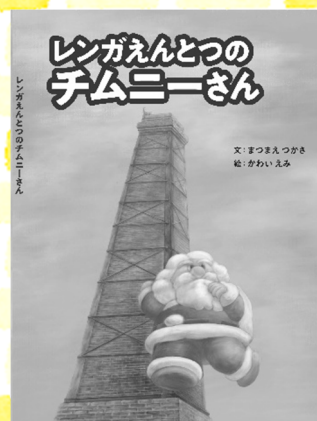
深海という厳しい世界に生きる生物たちの、
いつときの大宴会を描いた物語絵本です。

《作品名》
レンガえんとつのチムニーさん

《作者》
(文) まつまえ つかさ / (絵) かわい えみ

《出版社》
有限会社名寄土管製作所

煙突の周囲の人々、こどもとの心温まる交流を描いています。



総投票者数・・・2,421人(昨年2,327人)
総投票数・・・11,599票(昨年10,357票)
期間中来館者数・・・6,578人(昨年5,961人)
(大人4,356人 子ども2,222人)

投票期間・・・令和7年8月1日～

令和7年9月30日

けんぶち絵本の里大賞来館者投票にたくさんのご協
力をいただき、誠にありがとうございました！